

2018年2月22日

2017年度『福利厚生制度に関する実態調査』を発行 働き方改革で企業の6割がプレミアムフライデー等を実施 企業の関心は従業員の健康へ、禁煙補助等の健康支援が進む見通し

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)では、全国の企業約 2,000 社に福利厚生制度に関するヒアリング調査にご協力いただき、その結果を「2017年度 福利厚生に関する実態調査」として本日発行しました。本冊子は、当社法人営業担当より、全国の法人・団体のお客さまへ提供します。

当社は、健康寿命の延伸に向けお客さまの「健康増進」「病気予防」「早期発見」をサポートする活動に取り組んでおり、その一環として、2013年度より本冊子を毎年発行しています。

今年度の「福利厚生に関する実態調査」では、従業員の健康増進対策・疾病予防対策や非正規を含む従業員の待遇改善についての検討状況に加えて、近年注目度の高い「働き方改革」への取組みをテーマとして調査しました。

【今年度調査結果のポイント】

- 従業員の健康増進対策・疾病予防対策への取組みが進展。
 - ・従業員の健康増進対策・疾病予防対策は、約半数の企業に浸透。
 - ・企業が今後導入を検討する制度は「健康増進ツールの提供」が49%と最も高い。
- 非正規社員の待遇改善について企業の関心は高い。
 - ・非正規社員の待遇改善を“実施済”または“今後改善を検討”している企業は約6割。
 - ・約半数の企業で非正規社員の正社員登用が進む。
- 約7割の企業が、結婚・出産後も継続して働く女性の割合は「増えている」と回答。
- 約6割の企業が働き方改革の取組みとして、ノー残業デーやプレミアムフライデーを実施。

【今年度の調査テーマ】

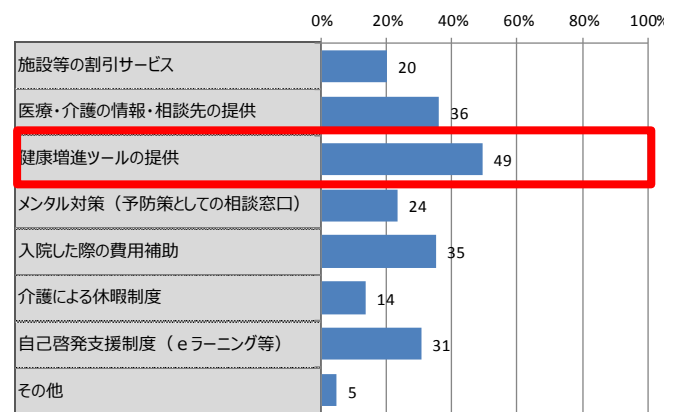
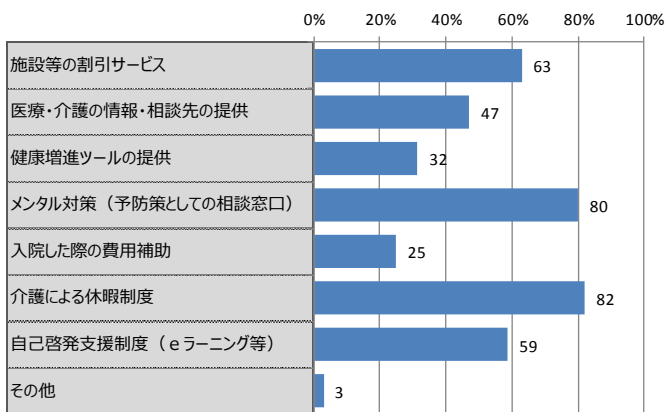
今年度の調査テーマ	概要
従業員の待遇改善	・非正規も含む従業員の待遇改善
健康増進	・健康増進取組へのスタンス
働き方改革	・取組状況 ・今後取組みを検討していること

調査結果サマリーデータ

設問 1 (1) 福利厚生制度についてお答えください。[複数回答]

既に導入済の制度 (回答数=2017)

今後導入を検討している制度 (回答数=810)



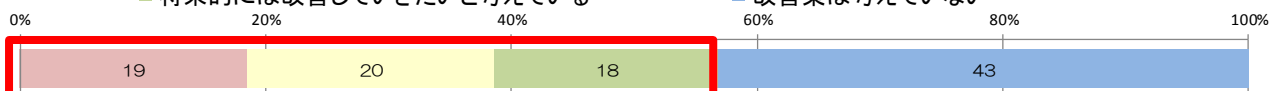
設問 2 従業員の待遇改善策として行う、退職金・弔慰金規程の検討状況についてお答えください。(回答数=2146)

■ 既に見直しを行った(過去3~5年以内) ■ 現在検討中である ■ 将来的には見直ししたいと考えている ■ 見直しは考えていない



設問 3 非正規社員の待遇改善策の検討状況についてお答えください。(回答数=2083)

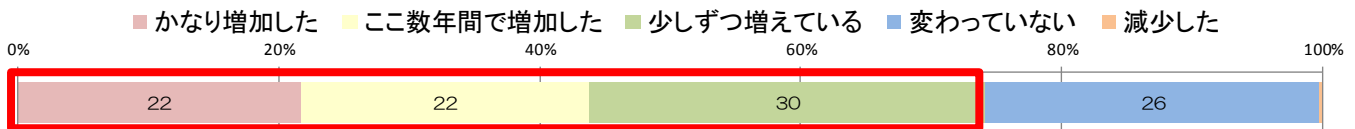
■ 既に改善済みである(過去3~5年以内) ■ 現在検討中である
■ 将来的には改善していきたいと考えている ■ 改善策は考えていない



設問4 従業員の健康増進対策・疾病予防対策の検討状況についてお答えください。
(回答数=2135)

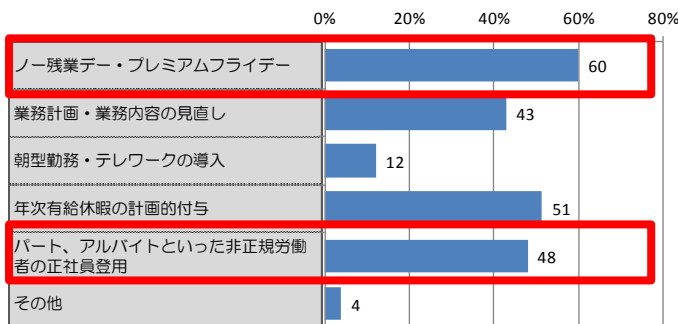


設問5 結婚・出産後も継続して働く女性の割合についてお選びください。(回答数=2163)

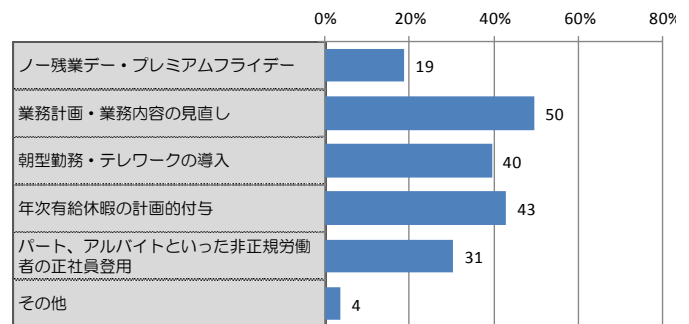


設問6 働き方改革についてお答えください。[複数回答]

働き方改革として取り組んでいること (回答数=1780)



今後取り組みを検討していること (回答数=1211)



【調査概要】

調査対象	全国の企業
調査時期	2017年8月29日～11月7日
調査方法	当社社員・インターネットによるアンケートの配布・回収
回収結果	ご回答企業数 2,185 社
集計内容	業種別・従業員数規模別に集計